

請願に対する対応に注目

## 「平和」と「民主主義」どう思っているのか

徹底した議論望んだがなし（総務生活常任委員会） 3団体からだされた

「集団的自衛権の行使容認の閣議決定の撤回と立法手続きの中止を国に求める意見書を上げてください」・・請願、委員会では不採択

議員にとって、議案にしても請願書にしても賛否が問われます。もちろん態度を保留する選択もあります。しかし賛成か反対か当然自身の意見があればこそ判断できるわけです。ところが何も発言せず「賛否のみを言う」議員が少なからずおられます。

今回はっきり意見を表明したのは、私住田以外公明党の議員であろうか。公明議員は「限りなく個別的自衛権に近い集団的自衛権で、憲法には反さない」など、批判を浴びてる自民党・公明党が住民向けに作成した言い訳文章にのっとなって発言しておられました。それも平和・憲法9条を正面からとらえたものではないし、民主主義を無視したやり方に反省もありませんでした。ほかの議員は意見らしい意見もせず、賛否の表明だけでした。

市民から負託された皆さんですから、もっと議論をしたかったのですが残念です。

## どの子にも公平に、安心な保育をすべし

日本共産党議員団の要求 「子ども・子育て支援新制度」における、家庭的保育事業等の設備及び運営等の基準に関する条例（案）

国は保育所入所待機児童解消するとして、小規模で事業を運営する基準を作り、それに基づいて川西市も条例を制定するための提案がありました。

問題は幼稚園等の保育料の大幅引き上げと、保育士基準です。料金は国が詳細部分を決めておらず、現地点ではわからない状況。

保育基準は、小規模になれば「保育士」資格がなくともいいとなっています。でも安心できる保育を望むなら、「保育士」による保育を実施していくべきです。そこで「差」をつけてはなりません。市も少し保育士要件を拡充する方向性を出しましたが100%ではなく、日本共産党はすべて保育士が対応すべきと修正案を提出、他の議員は修正案に反対しました。



よし

くらしの

「由さん」の 便り

2014年 9月 336号

川西市議会議員(日本共産党)

住田由之輔 すみだよしのすけ

連絡先・下加茂 1-24-23

ケイタイ 090-9283-6739

市民への情報は住田のブログへ。「住田由之輔」で検索

## 災害はどこでも起こる状況

一般質問

## 災害を減らす取り組みをしていくべき

台風や集中豪雨で被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。



川西でも 3 週間連続で休日に集中豪雨が起きました。被災された方もおられ、雨はもうこりごりとの感想も出されています。どこにどれだけ降雨があるか予測できない状態でもあります。

川西でも 2 回目、3 回目では南北で 100mm も降雨量が違っていました。

質問では、浸水に対する備え、改善策を要求し、市民のいのちと財産を守る、「災害を減らす」まちづくりを訴えました。

今回の一般質問は別の機会に報告します。

すべての住民に「個別の番号」を制定し、管理する、マイナンバー制度へ、システムの変更へ川西だけでも初期、1 億円投入

### 国家プロジェクトとして2000億から3000億円投資する事業

委託料として補正予算が出てきました。番号で国民を監視するシステムです。使い勝手の良さだけが宣伝されていますが、国の都合で一括管理もできるようになり、普通の国民はその網から逃れることはできません。しかし金持ちは海外に資産を移し、税逃れはいくらでもできる制度でもあります。

## 軽自動車税が引きあがります

種別	排気量等	現行	改正後
原動機付き自転車	50cc以下	1,000	2,000
	90cc以下	1,200	2,000
	125cc以下	1,600	2,400
	原付ミニカー	2,500	3,700
軽自動車	2輪	2,400	3,600
	4輪乗用・営業用	5,500	6,900
	4輪乗用・自家用	7,200	10,800

市税条例の改定案が議案として出され、原付と2輪車については平成27年度から施行され、28年度はまるまる一年間影響額が出てきて、1700万円の負担増になります。

軽4輪車は平成27年4月1日以降に購入した車から引き上げ対象になり、約1000万円の負担増・影響額になる予想です。